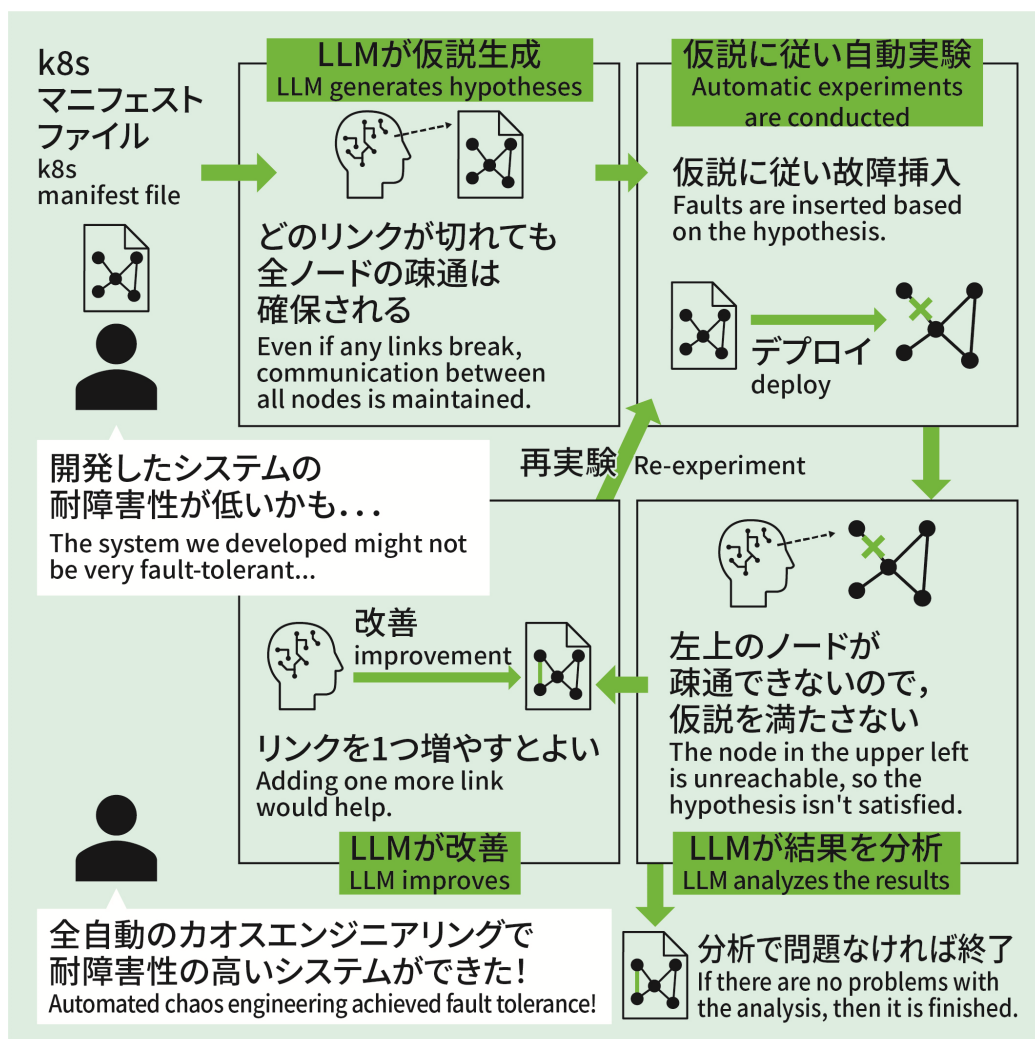




///技術課題

テスト内容の検討や、不具合の修正は人が行うため、稼働がかかり、人為的要因による残存不具合も想定されます。

///研究目標

カオスエンジニアリングの自動化によるシステム開発におけるテスト工程の稼働削減と、網羅的なテストにより信頼性を向上します。

---要素技術

- LLMを用い、複数の役割のエージェントを独自に実現。エージェント同士が協力し妥当で網羅的な試験を全自動で実施
- エージェントに試験の複数ステップを確実に実行させるための「ガードレール」を独自に定義。信頼性の高い試験を実現

---市中技術差異点

- LLMとカオスエンジニアリングを組み合わせ、網羅的で信頼性の高い耐障害性に関するテストを全自動化させる世界で唯一の技術

---適用ビジネス

情報通信業分野において、システムの耐障害性向上に関するテストの自動化に適用（2026年頃）[市場規模19億米ドル]